

事務事業名		道の駅湧水の郷しおや防風フェンス設置事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	産業活性化に向けたまちづくり			所属課	産業振興課	担当	林務商工観光担当
	実施名	地域特性をいかした観光の推進			課長名	高橋 好雄	担当者名	手塚 正裕
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (26 年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 概要 船生地区は、冬期日光連山からの西風が強く、特に道の駅「湧水の郷しおや」は周辺に風の障害となるものがなく、オープン以来、風の強さを実感しています。 また、平成25年4月に「飲食館」がオープンし、「飲食館」には直接強風が当たり、施設利用者への配慮が必要不可欠となっている状況であります。「飲食館」の利用者からも寒くて食事など出来ないといったクレームも出ております。 こうした状況を改善するために「飲食館」北西側に防風フェンスを設置する。場所は、農村レストランと飲食館の境地に高さ約3mのフェンスを北側に約10mの規模とする。ただし、独立基礎を埋め込むことから既埋設物を十分に配慮し場所選定をする必要がある。 防風フェンスを設置することにより、利用者の施設滞在時間を高めるとともに、施設バックヤードエリアとの区別を付け、利用者の安全対策にも繋がるものとなる。</p> <p>2 概要事業費 工事請負費 2,000,000円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 防風フェンス(アルミ製) 高さ: 3m		名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 道の駅施設利用者 飲食館出店者		ア 長さ	m
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 道の駅湧水の郷しおやの施設利用者数の増加 (※H25の実績値は、見込数) 飲食館の冬期売上額(11～3月)の増加(※H25の実績値は、見込数) 道の駅利用者の事故0(※H25の実績値は、見込数)		イ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 施設利用者(年間)	人
		イ 飲食館出店者	店舗
		ウ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 道の駅全体の年間来客数	人
		イ 飲食館の冬期売上額	千円
		ウ 道の駅利用者の事故件数	件

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 m		10				
		実績値 m						
対象指標	イ	目標値 0						
		実績値 0						
成果指標	ア	目標値 人	280,000	350,000				
		実績値 人	320,000					
	イ	目標値 店舗	5	5				
		実績値 店舗						
	ウ	目標値 千円	20,000	12,600				
		実績値 千円	10,500					
	ウ	目標値 件	0	0				
		実績値 件	0					

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金 千円					
		県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円		2,000			
		事業費計 (A) 千円		2,000	0	0	0
人件費	正規職員従事人数 人						
	延べ業務時間 時間						
	人件費計 (B) 千円	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B) 千円			2,000	0	0	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金 千円					
		県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円					
		事業費計 (A) 千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数 人						
	延べ業務時間 時間						
	人件費計 (B) 千円	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B) 千円		0	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	道の駅利用者の満足度を向上するものであり道の駅が活性化することが町民全体の利益に繋がるものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	道の駅環境の整備・充実が管理者(町)の責務であり早急な対応が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	エクステリア関連の業者に現場確認の上、見積徴収。 規模については、最小限の金額で効果が得られる規模を採用。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	施設充実の為に実施されるものであり、受益者負担は発生しない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 26 年 1 月 7 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 今冬の風の状況を把握し、以下について検討し適切に施工すること。 ・北風への対応(北側へも設置するか) ・素材をどうするか(木材を使用できないか・該当する補助事業があるか) ・建物北側(農村レストランそば処「かみざくら」との隙間への配慮(建築基準法等を満たした上で、防風対策をとる) ※精査した上で、当初予算額を上回る場合は補正対応	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業